

# 令和3年度決算公告

東京都中央区湊二丁目2番8号  
 エール少額短期保険株式会社  
 代表取締役 榛沢知司

## 令和3年度（令和4年3月31日現在）貸借対照表

（単位：千円）

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【資産の部】</b>		<b>【負債の部】</b>	
現金及び預貯金	74,802	保険契約準備金	16,054
有形固定資産	2,186	支払備金	134
建物	2,079	責任準備金	15,920
器具備品	106	<b>その他負債</b>	<b>19,828</b>
無形固定資産	6,879	借入金	6,804
ソフトウェア	6,048	未払金	4,118
ソフトウェア仮勘定	831	未払費用	4,950
その他資産	6,352	未払法人税等	593
差入保証金	3,261	預り金	416
前払費用	1,978	仮受金	2,944
その他の資産	1,112	<b>負債の部合計</b>	<b>35,883</b>
供託金	13,000	<b>【純資産の部】</b>	
繰延資産	2,548	株主資本	69,887
開業費	2,548	資本金	266,147
		資本剰余金	256,147
		資本準備金	256,147
		利益剰余金	△452,407
		その他利益剰余金	△452,407
		繰越利益剰余金	△452,407
		<b>純資産の部合計</b>	<b>69,887</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>105,770</b>	<b>負債・純資産の部合計</b>	<b>105,770</b>

## 令和3年度損益計算書

（ 自 令和 3年 4月 1日  
至 令和 4年 3月 31日 ）

(単位：千円)

科 目	金 額
<b>経常収益</b>	<b>119,951</b>
保険料等収入	118,808
保険料	118,808
資産運用収益	0
利息及び配当金等収入	0
その他経常収益	1,142
補助金等収入	1,142
<b>経常費用</b>	<b>148,470</b>
保険金等支払金	3,532
保険金等	3,428
解約返戻金等	104
責任準備金等繰入額	7,006
支払備金繰入額	65
責任準備金繰入額	6,941
事業費	132,825
営業費及び一般管理費	127,064
税金	529
減価償却費	5,232
その他経常費用	5,105
<b>経常損失</b>	<b>28,518</b>
<b>税引前当期純損失</b>	<b>28,518</b>
法人税及び住民税	290
<b>当期純損失</b>	<b>28,808</b>

# 個別注記表

## 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 固定資産の減価償却の方法
  - (1) 有形固定資産  
定率法を採用しております。  
なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物	8～15年
器具備品	5～10年
  - (2) 無形固定資産  
定額法を採用しております。  
なお、ソフトウェアについては社内における見込利用可能期間（5年）に基づく定額法により償却しております。
2. 繰延資産の処理方法
  - (1) 開業費  
開業のときからその効果の及ぶ期間（5年）にわたって、定額法により償却する方法を採用しております。
3. 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、免税事業者につき税込方式によっております。
4. 責任準備金の積立方法  
保険業法第272条の2第2項第4号に掲げる書類（以下、「算出方法書」という。）に規定された方法に基づき算出し計上しております。

## 貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額は、2,101千円であります。
2. 記載金額は記載単位未満を切り捨てて表示しております。

## 損益計算書に関する注記

1. 正味収入保険料は、118,704千円であります。
2. 正味支払保険金は、3,428千円であります。
3. 利息及び配当金収入の内訳に関する事項

預金利息	0千円
計	0千円
4. 記載金額は記載単位未満を切り捨てて表示しております。

## 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

(単位：株)

	前期末株式数	当期増加株式数	当期末株式数
普通株式	125,406	-	125,406

2. 新株予約権に関する事項  
新株予約権の目的となる株式の種類は普通株式であり、その目的となる株式数は、当該事業年度末において、16,850株であります。
3. 記載金額は記載単位未満を切り捨てて表示しております。

## 金融商品の状況に関する注記

1. 当社は、資金運用については短期的な預金等に限定しております。  
令和4年3月31日における貸借対照表上額、時価及びこれらの差額は次のとおりであります。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
現金及び預貯金	74,802	74,802	—

(注) 金融商品の時価の算定方法

当社が保有する金融商品のうち重要性があるものは上記表のとおりであります。これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから当該帳簿価額によっております。

2. 記載金額は記載単位未満を切り捨てて表示しております。

## 税効果会計に関する注記

1. 繰延税金資産の発生 の主な原因の内訳

(単位：千円)

### 繰延税金資産

繰越欠損金	122,816
その他	2,800
繰延税金資産小計	125,616
評価性引当金	△125,616
繰延税金資産合計	—

## 1株当たり情報に関する注記

1. 1株当たり純資産額は、557円29銭であります。
2. 1株当たり当期純損失額は、229円72銭であります。

## 主要な業務の状況を示す指標に関する注記

保険業法施行規則第211条の37第1項第3号ロ(9)に規定する(ソルベンシーマージン比率)は、737.2%であります。

## 保険業法上の純資産額に関する注記

(単位：千円)

純資産	69,887
異常危険準備金	7,225
価格変動準備金	0
保険業法上の純資産額	77,112

保険業法上の純資産額とは保険業法施行規則第211条の8第1項の規定に基づき、貸借対照表の純資産の部の金額に異常危険準備金および価格変動準備金の額を加えたものです。